

福岡県医発第 1257 号 (総)

平成 19 年 10 月 19 日

各 医 師 会 長 殿



福岡県医師会

会長 横 倉 義 武

九州大学病院主催

第 1 回女性医療人きらめきプロジェクト研究会について (ご案内)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、女性医師を取り巻く問題や支援につきましては、全国各地で様々な活動がなされており、本会におきましても男女共同参画部会委員会を中心に活動、調査を行っているところではございますが、この度、九州大学病院主催による標記研究会が開催される旨案内がまいりました。

女性医師支援・諸問題の解決には、支援体制の整備、勤務形態の多様化など今後十分に検討すべき課題が山積しておりますが、女性医師が増加の一途を辿る今日、早急な対応が望まれております。また、問題意識の共有と勤務先、家族等の理解がなければ解決し得ません。

つきましては、一人でも多くの先生方にご参加いただきますよう貴職よりのご周知の程宜しくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 廣瀬真恵



九州大学病院

第1回女性医療人きらめきプロジェクト研究会のご案内

福岡県医師会員の皆様へ

九州大学病院では今年度から文部科学省の大学改革推進等補助金により、女性医療関係者が結婚や出産後も働き続けることができるような職場環境を作り、休職している方に安心してスムーズに職場復帰していただく目的で「女性医療人きらめきプロジェクト」というプロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトのキックオフを記念して古川貞二郎先生の講演会を企画いたしました。

古川先生は、九州大学法学部のご出身で村山首相から小泉首相まで5代にわたって内閣官房副長官として日本政府を支えてこられた方です。

今回の講演では、女性医療人を育てていくことがいかに大切なことであるか、ということについてお話ししていただきます。女性医療人を育ていくことは、男性医療人の働く環境を良くしていくことにもつながると信じています。

多数の方々のご参加をお待ちしています。

日時：平成19年11月13日（火）、18時～20時

場所：九州大学医学部百年講堂、大ホール

講演：古川貞二郎先生（元内閣官房副長官）

**演題：「日本の医療をよくするための女性医療人の役割
-女性医療人がきらめくために-**

取組責任者：九州大学病院長 水田祥代

取組担当者： 樗木晶子、徳永えり子